



<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生
<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

魔法の言葉

校長 中村 公一

秋も深まり朝夕の冷え込みを感じるようになってきました。今週行われる合唱祭を終えると全校で行う行事は三年生を送る会のみとなり、いよいよ3年生は受験などの進路選択に向けて全力で取り組んでいくこととなります。校長室でも先週から高校受験に向けた取り組みの一環として模擬面接が始まり、どの生徒も緊張した面持ちで面接に臨んでいます。望みが叶うようみんなに頑張ってもらいたいものです。

さて、学校には地域の方から様々なご意見が寄せられます。あるときはお叱りの言葉であったり、またあるときはお褒めの言葉であったりするのですが、先日、地域の方から学校にかかってきた電話は「登校途中の生徒が朝から元気な挨拶を返してくれて元気をもらえてうれしかった」というものでした。私が本校に着任して以来、生徒たちには人に会ったらまず何より「おはよう」「こんにちは」という挨拶の言葉を交わそうということを伝えてきましたが、これに少しでも近づけているのならよいです。

私が以前赴任していたバハレーン（バーレーンということが多いのですが、現地の日本人学校では実際の発音に近いバハレーンという呼び方をしています）は、古くから交易の拠点であったため、今でも様々な国の人たちが働いています。たとえば日本人学校の事務員はフィリピン人、ドライバーはイラン系のバハレーン人、用務員はスリランカ人、警備員は南インド（インドも北と南では言葉も文化も違います）の人でしたし、住宅の管理人や庭師はそれぞれバングラディッシュ人やパキスタン人と言う具合に実に多くの国から働きに来ている人たちがいました。ですから普段使う言葉は、みんなが知っている英語です。ところで、新しい土地に移り住み家族がそろって安定した生活を送れるようにするためには、まずたくさんの人と知り合いになり仲良くなることが不可欠です。特に海外では、相手に自分の立場や気持ちを察してもらおうというような甘えは通用しません。自ら進んで働きかけて自分のことを認めさせていかなくてはなりません。そんなときの心得として先輩教員から教えられていたのが挨拶です。どの国の人たちも母国語で挨拶をしてもらうと自然に笑顔がこぼれてきます。「今、目の前にいる相手は自分のことを理解してくれようとしている」という嬉しさと安心感で緊張が解れるからなのだと思います。そこで私はアラビア語以外にも、インド、スリランカなど様々な国の「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」を相手から教えてもらい、自分から話しかけるようにしました。毎日3カ国語で挨拶をしていました。きっと下手な発音だったのですが、それでも、これらの言葉が人間関係の潤滑剤になっていたことは間違いないと思います。

そういえばこんなことがありました。我が家で働いていたメイドはスリランカ人で娘（早紀といいます）への羨もっかかりとしてくれている人でした。あるとき、娘がメイドから何かを手渡してもらったときのことだったと思います。娘が黙ったままでいたら「サキ、あなたは忘れてしまったの？人をハッピーにする魔法の言葉（magic word）よ」と話しかけたのです。娘が「Thank you」と言うと、「素晴らしいわ、あなたはなんてお利口なんでしょう。」そう言ってぎゅっと抱きしめて褒めてくれたのです。「人を幸せにする魔法の言葉」メイドの教えは今も我が家に生きています。



飯能高等学校創立100周年記念式典
10月29日（土）に市民会館で今年で創立100周年を迎える埼玉県立飯能高等学校の記念式典が執り行われました。来賓からたくさんの挨拶がありましたが、生徒会長の挨拶はひとときわ輝いており拍手が沸き起こりました。

物価上昇にともなう諸問題について

今年は春頃からほぼすべてと言ってよいほど多くの物について価格の引き上げが行われ、総務省統計局が先月発表した全国消費者物価指数では前年比で3%上昇したとされています。加えて最近顕著になり出した円安の傾向も下げ止まる様子がうかがえないことから物価の上昇は更に続いていくものと予想されます。物価の上昇が家計に与える影響は非常に大きなものですが、それは学校においても同様です。今後、衣料品、食材、旅行代金の値上げにともない様々な対応をしていかなければなりません、様々な値上げにより家計も圧迫されていることから、学校徴収金を増額すればよいという簡単なものではないということをご承知しております。給食費、旅行積み立て、制服等の価格の3点につきまして、現在、学校が直面している状況についてご説明申し上げます。今後、慎重に検討を重ね、改めてお願いすることが多々あるかと思いますが何卒よろしくご理解くださいますようお願い申し上げます。

給食費について

学校で徴収している給食費はそのすべてが食材費に当てられています。したがって食材費の高騰は給食の内容に直接影響して参ります。食材の業者への発注は毎月20日頃にその翌月分をまとめて行うことになっており、献立決定の際には価格の面だけでなく、栄養や安全などの側面も考えて行っておりますが、食用油をはじめとして価格上昇の大きい物が多く現状は厳しい状況です。現在一食あたり約330円のうち12円を市から補助していただいておりますが、来年度以降はこの補助の分が不足してしまうこととなります。円安により輸入食材も高騰しているため安心安全の担保だけでなく、定められた基準を満たした給食提供が困難な状況になりつつあります。

修学旅行等の積み立てについて

現在、旅行の積立金として総額で8万円の積み立てをお願いしておりますが、その内訳は3年生で実施する修学旅行の費用として6万円、1、2年生で実施する宿泊学習等の費用として2万円となっております。しかし今年になり様々な料金の値上げが始まっており、昨年から今年にかけての実績をもとに来年以降もこれまでと同様の内容で実施した場合を実額ベースで考えた場合、修学旅行も宿泊学習も共に予算をオーバーすることが見込まれています。実施時期を冬季などの閑散期に移すなどすれば料金はある程度抑えることはできますが、健康上の問題や部活の大会や長期休業の直前直後になるなど生徒の負担の問題が出てまいります。また、本校の場合には蓼科方面への宿泊学習を伝統としてこれまで長年にわたり継続して参りましたが、この費用負担も大変大きいものと思われまます。宿泊学習を費用を抑えながら実施するためには旅行先を変更する必要が出てまいります。修学旅行も宿泊学習もこれまでにかなり精査して内容削減をしてきているため、費用総額を現状のままに抑えるためには内容の大幅な変更をしなければならない状況です。

制服等の衣料品費について

数年前から羊毛の価格が高騰しており、すでに多くのメーカーが値上げに踏み切っています。入学時において制服上下をすべて購入するときの金額ベースで考えると一概には言えないものの、近隣他市の学校の様子を調べてみると、ここ1、2年でおよそ5千円位の値上げが行われているようです。また制服以外にもジャージや体育着、上履きなどの価格改定も想定されます。今後、メーカーから値上げの通知があった場合には品質を下げることによって値上げ幅をどのくらいに抑えられるか交渉してまいります。耐久性などを考えるとその余地はかなり厳しいものとなりそうです。また、来年は**通学以外でも自転車に乗る際にヘルメットの着用が必要**となります。

○ 11月の主な行事予定 ○

2日(水) 合唱祭	学校運営協議会(19日 10:30~)
4日(金) 仲よし音楽会	傍聴を希望される方は教頭までお申し出ください
8日(火) 教育相談・三者相談(15日まで)	21日(月) 振替休業日
相談期間中は45分授業	28日(月) 開校記念日
12日(土) PTA花の植え替え作業	29日(火) 期末テスト(1日目)
14日(月) 県民の日	30日(水) 期末テスト(2日目)
19日(土) 学校公開日 PTA学年行事(2・3年)	尚、11月中の下校時刻は16:45分です